

「hue学生プロジェクト'18」（一般部門）採択一覧

番号	キャンパス名	プロジェクトの名称	プロジェクトの目的
1	旭川校	かえるのしっぽ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ではできない活動を子どもに体験してもらうこと。</li> <li>・親と子のコミュニケーションの場を作ること。また、学校に馴染めない子や通えていない子に対して新しいコミュニティの場を提供し、自信をつけてもらうこと。</li> <li>・子どもとの活動を通して、私たち学生自身も学びを深めること。</li> </ul>
2	旭川校	地域の環境問題の解決から考える持続可能な旭川 ～ESD教材開発・授業づくり・公開模擬授業～	本プロジェクトの目的は、旭川市が抱えている環境問題の解決の観点(持続可能な開発・SD)から、教材研究を行い、小中学校の社会科の授業を作成することにある。
3	釧路校	KataroYou(かたろうよう)	本プロジェクトは、学生生活、将来の人生設計、教育、社会問題など学生の興味・関心のある事象をテーマに議論し、一つの物事について様々な視点で見ることや、学生間、世代間の交流を目的とする。また、本プロジェクトの参加者は北海道教育大学釧路校の学生に限らず、大学教授、釧路やその他地域の方、他大学の学生などである。それらの方々とも問題意識を共有し、地域の課題等の解決にも寄与していく。
4	釧路校	自主夜間中学「くるかい」における学びなおし支援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主夜間中学の目的が、様々な理由で学校へ通えなかった、または学びなおしを希望している生徒さんへ学習支援を行うことである。読み書き算だけではなく、新たなことに挑戦したいということ通っている生徒さんもある。</li> <li>・もともと、研究室活動であったものの、担当の教員が退職されたことから学生のみによる、このプロジェクトが発足した。</li> <li>・上記の生徒さんの学びなおしを支援することがこのプロジェクト最大の目的である。そこに加えて、学生の指導法の開発や指導力の向上、学習者に合ったより良い教材づくりなども目的としている。</li> </ul>
5	函館校	TFT-HAKODATE Challenge Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを通して、国際協力に興味を持ってもらうきっかけづくりを行う</li> <li>・函館の国際協力への関心を高める</li> <li>・TFTの活動を学生や地域住民に知ってもらう</li> <li>・国際協力に興味のある学生が活躍できる地域にする</li> <li>・地域のイベントの活性化を目指す</li> <li>・学生と地域の結びつきを強める</li> </ul>
6	函館校	子ども理解を包括的・実践的に進める支援ツールの試み ーはこだて版「子ども支援ガイド」の作成に向けてー	近年ますます多様化の一途をたどる児童の育ちについて、本プロジェクトでは、アクション・リサーチと先進地訪問をしながら、子どもたちの実像をより具体的・多面的にとらえるための方法を試みたいと考えている。 アクション・リサーチでは、主に放課後子供教室や学童保育クラブの児童を対象とした遊び・知育活動のツール開発を行う。先進地区の訪問では、発達支援のシステム理解と具体的な関わり方を拾って整理する。 この情報をもとにして、地域ぐるみで子育て支援にあたるための手がかりを得たい。
7	函館校	地域の課題に対応した高度情報活用型教材の開発と試行 ー社会科副読本の利用支援とSTEAM教育の普及に向けてー	本プロジェクトでは、小学生が地域課題を深く理解して実践課題につなげるための調査・開発・試行を実施したい。具体的な課題として以下の3点に取り組む。 (1)函館市の社会科副読本を題材として、主に3、4年生の地域学習を支援する情報活用型の教材を製作する。 (2)北海道内の市町村に依頼を行い地域学習の動向を把握しつつ、地域素材の活用事例を訪問観察する。 (3)現代的・複合的な課題である地域学習を支援するために、報道関係者への取材を通じて「リサーチガイド」の試作を行う。
8	函館校	地域の喫茶店と連携し、学生のアカデミックスキル向上と地域の方々の生涯学習促進を目指すプロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> <li>①大学での講義などで学んだことや感じたことを共有し、議論する場を設けることで、学生の学習意欲を高め合う。</li> <li>②プレゼンテーション、ファシリテーション、議論を通し、学生自身のアカデミックスキルを身につけ、さらに高め合う。</li> <li>③喫茶店などの地域の施設と連携し、学生の活動を地域に周知することによって、学生と地域の人々がつながり、生涯学習の場として活用してもらう。</li> </ol>
9	岩見沢校	岩見沢ねぶたプロジェクト'18 ～岩見沢の人々に新たな文化を、そして誇りへ～	プロジェクトを通し、美術専攻内の結びつきを強めることはもちろん、2週間による駅での公開制作とワークショップにより、岩見沢市民との協働による人と人との繋がりを生み出すことを目的としている。 また、このプロジェクトはねぶたを完成させることが最終目標ではない。次年度以降は、名称を「岩見沢ねぶた祭りプロジェクト」と変更し、新プロジェクトとして美術専攻だけではなく、祭りのプロデュースをビジネス専攻に、祭り囃子を音楽専攻に、祭りの踊り手をスポーツ専攻が行い、岩見沢市に新たな夏のイベントを作り出したい。そのステップとして、今年度のプロジェクトはねぶた制作を主体として行うが、期間中次年度の祭り開催への情報発信も行っていく予定である。